

**製品名: Ret (リン酸化 Tyr1062) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05365**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	170kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RET
別名	RET; CDHF12; CDHR16; PTC; RET51; Proto-oncogene tyrosine-protein kinase receptor Ret; Cadherin family member 12; Proto-oncogene c-Ret
遺伝子 ID	5979.0
SwissProt ID	P07949
免疫原	抗血清は、ヒト Ret の Tyr1062 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1041-1090

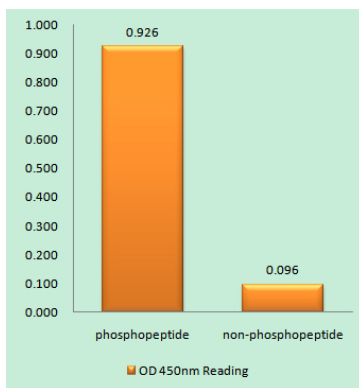
**背景**

ret プロトオンコジーン (RET) ホモサピエンス この遺伝子はカドヘリンスーパーファミリーに属し、細胞の成長と分化のシグナルを伝達する細胞表面分子である受容体チロシンキナーゼの1つをコードしています。この遺伝子は神経堤の発達に重要な役割を果たしており、細胞遺伝学的再構成によって in vivo および in vitro で発癌性活性化を受ける可能性があります。この遺伝子の変異は、多発性内分泌腫瘍症 IIA 型、多発性内分泌腫瘍症 IIB 型、ヒルシュスプルング病、および髄様甲状腺癌などの疾患に関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。追加の転写バリエーションも報告されていますが、その生物学的妥当性は確認されていません。 [RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。、疾患: RETに関連する染色体異常は、甲状腺乳頭癌 (PACT) の原因である[MIM: 188550]。

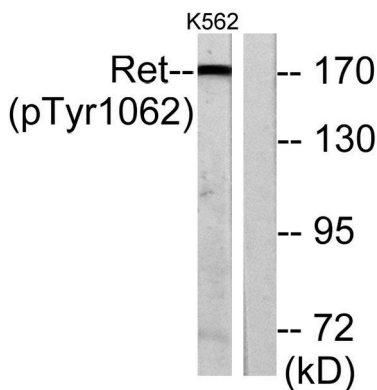
## 研究分野

エンドサイトーシス;がんにおける経路;甲状腺がん;

## 画像データ



Ret (リン酸化 Tyr1062) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



Ret (リン酸化 Tyr1062) 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析 右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。